

2021 Vol.4 へのご意見・ご感想

このコーナーでは、編集部に寄せられた読者の先生方からのご意見をご紹介します。

*『VIEW next』及び『VIEW21』教育委員会版のバックナンバーは、『VIEW next ONLINE』(<https://view-next.benesse.jp/>)でご覧いただけます。
(これまで、<https://berd.benesse.jp/>にあったコンテンツは、<https://view-next.benesse.jp/>に移管しました。)

●「個別最適な学び」や「協働的な学び」という新しいキーワードが出され、本県でも、今年度の実践論文によく使われています。特集を読み、それらは「主体的・対話的で深い学び」に内在する学習方法で、その中に「指導の個別化」や「学習の個性化」があり、個別学習と協働学習の往還によって、学びがより豊かになるという背景が分かり、そうした理解が不十分な論文もあることに気づきました。新しいキーワードのさらなる浸透が望まれます。(岐阜県)

●特集の課題整理と提言で、國學院大学の田村学教授が挙げた「教育委員会に望まれる3つの支援」が大変興味深く、参考になりました。教育委員会として目指す授業のビジョンを、いかに明確にするかが課題だと捉えています。方法論で語られることの多い取り組みの目的を、学校現場にしっかりと理解してもらうことが重要だと感じます。(広島県)

●特集の秋田県大仙市立大曲小学校の事例は、小学校のみならず中学校においても十分な効果が期待できると思います。全教科共通で1時間の流れが設定されていると、学ぶ側は安心でき、進級しても、担任が変わっても、同じスタイルで学べます。また、「ふり返りの5つの視点」も具体的に取り組みやすい活動だと思います。(青森県)

●特集の福井県福井市明倫中学校の事例で、「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、授業研究に取り組んでいる様子が参考になりました。一步踏み込んだ協働学習にするために、当事者意識の持てる学習課題の設定と、思考を揺さぶるための「第二の発問」を大切にしており、本町でも取り入れていきたいと思いました。(岡山県)

●特集の広島県安芸太田町立加計中学校の知識構成型ジグソー法の実践が、とても参考になりました。小規模校でも全校体制で実践すると、固定しがちな生徒の人間関係を改善できると分かり、本市の小規模の小・中学校にも紹介し

たいです。また、3事例の授業リポートが具体的で分かりやすく、学校現場で活用しやすいと感じました。(新潟県)

●特別企画「遊びを通じて健康的な身体づくりを」を読み、体育科の授業で運動遊びに取り組んでも、放課後、その遊びを行う場所がないことが問題なのだと気づきました。本校でも、放課後にランドセルを置いたまま遊べますが、安全面を見守るだけで、東京都昭島市のようなプレイリダーはいません。体力の二極化が課題の今、同様の制度が本市でもできないか、提案しようと思います。(東京都)

●連載「教育長が語る Leader's View」で紹介された、鹿児島県鹿屋市の中野健作教育長による「グローバル人材」の育成が参考になりました。グローバルとローカルな視点を持って地域全体で子どもを育む。そうした体制により、子どもの心に協働の精神が根づくのだと思いました。(千葉県)

●連載「データで教育を読む」の記事に、「協働的な学び」を行う割合は、教員も子どももICTを活用している群の方が、非活用の群に比べて10ポイント以上高いとありましたが、勤務校でも同じです。そうした主体的な学習の効果は、ICTの活用によって高まっています。(岐阜県)

●中学校や高校の部活動では、生徒に指導者の考えを植えつけて、指示通りに動かすという考えが根深いようです。連載「フロントランナーに聞く 教育の next」で、佐伯夕利子氏が、「自己決定できる力」を選手が身につけるためには「教えないスキル」が必要だという考えを語られており、自身の日頃の指導を反省させられました。(愛媛県)

●「思考ツール」を活用したことがありませんでしたが、連載「新しい学びのかたち キーワード解説」を読み、思考の可視化に有効なことが分かりました。聴覚障害のある生徒にも効果的なことから、使ってみたいと思います。(富山県)

編集後記

気仙沼市教育委員会での取材後、昼食のお店を探していると、探究学習コーディネーターの加藤拓馬さんにばったりと再会。モダンでお洒落なカフェは、中高生への活動拠点でもあるそうです。大学卒業直前の震災ボランティアを機に、新卒無職移住された行動力のある方ですが、親しみやすく、地域の方々や教育長から慕われているのがよく伝わりました。コロナ禍でなければ、ゆっくり杯を交わしたいと感じる方でした。(草場)

VIEWnext 教育委員会版 2022 Vol.1

2022年6月1日発行/通巻28号

発行人	春名啓紀	お問い合わせ先
編集人	田村隆憲	フリーダイヤル
発行所	(株)ベネッセコーポレーション	0120-350455
	学校カンパニー VIEW next 編集部	〒700-8686
印刷製本	研精堂印刷(株)	岡山市北区南方3-7-17
編集協力	(有)ペンダコ	
執筆協力	佐藤 智、二宮良太	
撮影協力	竹内洋平	

©Benesse Corporation 2022

※ Vol.2の発刊は、9月を予定しています。